

# 理事長あいさつ

理事長 齋藤 博文



日頃組合員の皆様には、土地改良区運営並びに事業推進に多大なるご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

米政策改革について、平成25年に政府が取りまとめた「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき、40年以上続いた減反政策が廃止されます。我々農業者にとって、今後が懸念されるどころであり、時代の要請に沿って柔軟で素早い対応が求められています。

平成30年度の国の土地改良事業関係予算は5,800億円、新潟県につきましても農地部は505億円、農林水産部では400億円、新潟市でも「農業特区」に指定された効果を引き出す事業が計画されております。

そのような中、亀田郷土地改良区も昨年に続き農業経営基盤の強化、多面的機能としての側面を持つ土地改良施設を有効に活かした取り組みの促進等、確実な農業・農村整備事業の展開を図っていくため、約24億円の予算を編成し各種事業に取り組んでまいります。

一方では、国の施策に則った農家、農業の体質強化、農村振興と地域力の向上、国土強靱化の中で、土地改良区の在り方と土地改良制度の検証検討が求められて

います。そのような中で、農業振興の礎となる農業農村整備事業の推進を図るには、その根幹となる財政基盤の強化と、安定的な財源が確保できなければ継続は難しいと考えており、今や財政健全化に向けて、不転の覚悟をもって臨まなければならないと考えております。

先にお示ししました改革の三本柱につきましては、財政・組織の健全化について、現在専門家による指導助言を得て取り組んでおります。低コスト維持管理体制の確立に向けた基盤整備については、関係機関と連携を強化し、地元負担の少ない事業による施設の更新を目指します。地域振興については、鳥屋野潟南部開発計画に関して、新潟県・新潟市と協調して、土地利用整備計画の熟度を高め、整備を促進します。

古代神話では、日本を「豊葦原の瑞穂の国」と表現しています。

日本は資源の乏しい国だとよく言われます。しかし世界の国々と比べた時、あふれる光と清らかな水、豊かな緑に恵まれ「農」を営める土台がしっかりした国であると思います。人は「農」から得られる富を分かち合い、農村みんなで助け合うという自立自助の精神を基本とした、この国古来の社会保障が日本人のDNAに組み込まれており、これまでも幾度か苦難を乗り越え、今日の繁栄があったと思います。

財政健全化に資するこれからの努力が実を結び、将来を担う人たちへ繋いでいけるものと信じております。

原油価格の高騰などによる農業生産コストの上昇など、組合員の皆様にとっては非常に厳しい状況下ではございますが、様々な課題を乗り越えるため役職員一体となり、組合員の負託に応える業務運営に努めてまいりますので、なお一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 亀田郷用水情報提供のお知らせ



亀田郷土地改良区では、パソコン・携帯電話を使った用水情報の提供を行っております。本田用水の開始時期や中干し、間断運転等のお知らせから、天候等による用水運転の停止や開始状況等、水系毎の用水情報を随時更新いたします。

ご利用頂くための手続きは必要ありません。パソコン・携帯電話をお持ちの方なら、どなたでもごらん頂くことができます。

パソコンからは <http://www.kamedagou.jp/keikaku/>

携帯電話からは <http://www.kamedagou.jp/i/keikaku/>

亀田郷土地改良区	
用水計画 大小両貫水系 日程表	
日	水
5/15(木)	○
5/16(金)	○
5/17(土)	○
5/18(日)	○
5/19(月)	○
5/20(火)	○
5/21(水)	○

本田用水  
水系全域で運転中